

中川村カーボンニュートラル宣言

～中川村は2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します～

世界気象機関(WMO)は、近年の世界各地で発生している記録的な高温や大雨、大規模な干ばつなどの異常気象が地球温暖化の傾向と一致しているとの見解を示しています。我が国においても頻発する局地的豪雨や台風の激甚化など、気象災害の原因が二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスによる気候変動にあると分析されており、この非常事態を座視すれば、未来を担う世代に持続可能な社会を引き継ぐことはできないという強い危機感を抱かざるを得ません。

2020年に国は「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、長野県では、2019年に「2050ゼロカーボンへの決意」と併せて、都道府県初となる「気候非常事態宣言」を発出し、県内全ての市町村も賛同しています。

地球温暖化の影響から住民を守り、将来にわたり持続可能な地球環境を次の世代に残すために、住民・事業者・自治体が一丸となって脱炭素に向けた意識を共有し、一人一人が、我がこととして、行動できるよう、中川村は2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「カーボンニュートラル宣言」を発出します。

令和5年(2023年) 3月22日

長野県中川村長

長野県中川村議会議長

宮下 健彦

松澤 文昭